



日本共産党品川区議会議員

週刊 みやざき かつとし 俊一

事務所 品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674

2009年3月1日 No.653

日本共産党品川区議団ホームページ <http://www.jcp-shinagawa.com/>

このニュースへの
ご意見や質問を
お寄せください



障害者の入所施設整備を

みやざきが代表質問で区に求める

25日より予算議会が始まりました。私(みやざき)は初日の本会議代表質問で障害者福祉をとりあげ、区長に「応益負担」制度の廃止を国に意見するよう求めるとともに障害者と親御さんが一緒に入所できる施設の建設、就労の場の確保を求めました。



自立支援法により障害者施設は収入が減らされ労働条件が悪化。離職する人が増えています。

自民・公明が導入した「障害者自立支援法」は受ける支援に負担を課したため障害者と家族は重い負担に苦しんでいます。

一方、障害者の入所施設、グループホーム、ケアホームなど住まいの整備が遅れています。現在、入所施設利用者の7割以上が区外や他県での生活を余儀なくされており、親御さんの高齢化が進むなか親子で入れる入所施設を切望しています。

私は、品川区で住み続けられるよう施設増設の具体的計画を示すよう求めました。担当部長は、希望するところで住み続けられることが理想と答弁しましたが、設置目標は示しませんでした。設置されるよう引き続き求めてまいります。

緊急経済対策に追加提案 特養ホーム・保育園・住宅を

2月25日の予算議会初日、本会議で私(みやざき)が行った代表質問(要旨)を紹介します。質問のテーマは次の5項目です。日本共産党は、区民要望の実現、くらしと営業を守って全力でがんばります。

①緊急対策の追加で、くらし・営業の支援充実を

世界的不況のなか日本の経済の落ち込みが激しい。輸出頼みの経済にした「構造改革」の破綻です。緊急時、政府の対策が遅い中、区独自策として商店街の装飾灯電気代補助2倍化、無利子融資あつ旋など品川区の緊急総合経済対策は一定評価できま

みやざきの代表質問は区民チャンネルでご覧になれます。



- ① 3月3日(火) Pm 6時から
- ② 3月7日(土) Pm 3時から

すがまだ不十分。特養ホーム、区営住宅など生活密着型の公共事業の追加対策が必要です。

②「国際都市」を看板にすすめる大企業・ゼネコン支援の大規模開発は見直しを

「国際都市」をスローガンにする第4次長期計画は、「魅力的な市街地整備の促進」として大崎、大井町などで大規模開発を拡大するものです。北品川5丁目開発計画は総事業費1324億円のうち補助金を264億円も投入する計画。環境破壊の問題

題もあり大規模開発を優先する税金の使い方は問題。見直すべきです。

③福祉充実の区民要望に応え、長期計画はつくり直しを求め

区民アンケートで福祉充実の要望が高かったにもかかわらず、長期計画は住宅や特養ホームは低所得者など一部に限定する方向。保育の計画は株式会社運営の認証保育園頼みなど福祉を後退、変質させるものです。長期計画は、区民要望に沿って「福祉第一」につくりかえるよう求めます。

④積立金23億円。介護保険料の値下げと特養老人ホーム増設計画の具体化を

介護保険料は、介護保険会計の23億円の積立金を活用して減額すること。また、高額所得者

が軽くなる保険料の仕組みを見直して低所得者の保険料引き下げを求めます。

区は、月額利用料がおよそ20万円する「ケアホーム東大井」の利用料を積立金から一律1万8千円を補助して減額しますが、低所得者に重い保険料などで貯めた積立金を、低所得者の利用できない施設の利用料減額に積立金を使うのはスジ違い。保険料減額に使うべきです。また、特養ホームと小規模多機能の施設増設を求めます。

⑤障害者自立支援法の廃止と、区独自策の充実を求める

↓表面を参照してください。

お困りときは
お気軽にご相談ください
みやざき克俊事務所
Tel 378616674
無料法律相談は毎月開催